

令和2年度 自己評価報告書

令和3年3月31日

学校法人小牧外山学園 とやまこども園

1. 本園の教育目標

見る・待つ・引き出す保育、笑顔と歓声があふれる保育、手を取りあう保育を通して園児の主体的な活動を促し、遊びを通しての指導を中心として、幼児期の終わりまでに育つことが期待される、生きる力の基礎となる心情・意欲・態度などを育成する。

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

一人一人の子どもの発達を捉え、より良い環境作りと、保育を深く読み解く力を付ける。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	取り組み状況
1	職員間の連携	週又は月別にポイントを決め、各学年で話し合った後、全学年で共有しました。さらに問題点や課題など話し合う時間を毎日確保した。
2	保育環境	全職員で「環境による保育」の重要性を再共有した。部屋のコーナー作りや分かりやすく目に見える配慮、園庭の環境などを工夫してきたことで、子ども達が興味・関心のあることに主体的に取り組み、遊び込むことができた。また、トラブルがあった時は、環境はどうであったか振り返り職員間で共有した。
3	安全管理	毎月の避難訓練をいろいろな想定で計画し実行した。問題点を洗い出し次に繋げるよう取り組んだ。

4. 総合的な評価結果

毎日のミーティングを通して自己課題を見出したり、他の教師の考えや、やり方に触れ、より良い保育を考えることが出来た。話し合うポイントや時間配分など、細かい工夫もでき、今後も継続して実施していく。

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	保育環境	安心して、落ち着いて遊び込める環境を、乳児・幼児共に話し合い充実させていく。
2	保護者対応	丁寧な対応を心掛け、保育参加（P a p a M a m a 先生）の機会を設けて園での様子を知らせていく。
3	幼児理解を深める	ミーティングやケース検討を行い、子ども理解に一層努める。